制施行75周年記念

シンポでまちの景観考える

菅原さんの基調講演、報告など

富士宮市

講演する菅原さん

富士宮市制施行75周年記念、同市景観シンポジウムが2日、富士宮市役所で開かれた。基調講演、報告などのほか、パネルディスカッションで「未来の景観」について話し合った。

基調講演は、同市景観審議会委員で観光計画研究所を主宰する菅原由美子さんが講師となり、「景観・まちづくりの主役は人」と題して語った。

菅原さんは世界遺産について、現在1073件が登録され、日本には富士山をはじめさまざまな世界遺産が登録されていることを紹介しながら、「世界遺産はどこ、と聞くと富士山の名は挙がるが、21あるすべての世界遺産を知る人は少ない。でも富士山は誰に聞いても出てくる名前。それだけ富士山は別格」と話した。

また、「どうして行政を挙げて、世界遺産登録に夢中になるのか」と問いかけ、「近年では経済効果だけを狙っているようなところも多い。世界遺産になって土産物を作って、箱モノを作って…。本来の世界遺産は、後世に素晴らしい景観や文化をつなげていくためのもので、それを世界に対して守っていく責任を背負ったということ。経済効果ばかりを狙うのではなく、遺産を守っていく人に投資し、若い人にその責任感を育ててほしい」と訴えた。

このほか報告では、富士宮高校会議所の中村真緒会頭が「富士宮市の10年後の景観について―富士宮フォトコンテストを踏まえて」と題し、富士宮市民からコンテストに寄せられた写真から、富士山をはじめとする豊かな自然や富士山本宮浅間大社に対する誇りが見られると述べた。また、活動の中でごみ拾いをしながら景観観察をした際、街なかに現れる自動販売機やコンビニエンスストアの色合いに違和感を感じるなど、富士宮市の景観に対する若者の視点を示した。

パネルディスカッションでは天野光一さん（日本大学理工学部教授、同市景観審議会会長）をコーディネーターに、同審議会委員の大久保あかねさん（日本大学短期大学部教授）と竹川将樹さん（㈱ふもとっぱら代表取締役）、中村会頭、須藤秀忠市長がパネリストを務め、富士宮市の景観の現状や将来像について活発に意見を交わした。

25年前のきょう

○…富士宮市立中央図書館の「木かげ図書館」が猪之頭など北部地区3カ所で開かれた。夏休みに入り、小学1・2年生と幼稚園・保育園児を対象に実施。井之頭地区では区民館で午前中、牛乳パックを利用した切り絵を作製。午後には地域の樹齢150年というタブの木の下で読み聞かせを楽しんだ。

親子で農業に親しむ

多彩なイベントで

県畜産技術研

富士宮市猪之頭の県畜産技術研究所は2日、「夏休み親子農業教室」を開いた。県内の小・中学生とその保護者20組65人が場内の乳・肉牛試験牛舎などの施設を見学しながらクイズラリーに挑戦したほか、子牛との触れ合いやトラクター馬車による遊覧を楽しんだ。

牛乳を使ったシャーベット作りに取り組む親子

乳牛舎では、子牛が生まれる季節や最も乳が出る時期、子牛を生んですぐに出る初乳の特徴についてクイズを出題。肉牛舎や堆肥舎では牧草と雑草の違い、堆肥の良さを判定する方法などについて学びを深めた。

農機具庫では、親子で牛乳や砂糖、氷を使ってシャーベット作りに挑戦。職員がカッテージチーズ作りを実演し、皆で試食した。

午後からは、トラクターに荷台をつなげた馬車に乗ったり、子牛に餌をやるなどして触れ合ったりしたほか、ホルスタイン種雌牛の中から外観や骨格、四肢、乳器の最も優れた牛を当てる「美少女牛コンテスト」を行った。

「宮おどり」歌うデュエット

御神火まつりで歌と踊り披露

『宮おどり』などを歌う歌手、デュエットが、5日に開催される御神火祭りに参加。『富士山宮おどり―このはなさくやひめ』の曲にチアーズファクトリーが考えた踊りを加え、踊り手となる子供たちと共に披露する。

デュエットは大塚幸栄さんと大塚香寿彦さんで構成し、第1回NHK新人歌謡コンテストで入賞。香寿彦さんは富士宮市制50周年を記念した曲『宮おどり』を作詞・作曲し、『新・富士宮音頭』を編曲。2人の歌とラッキィ池田の振り付けで現在も踊られている。

今回の『富士山宮おどり』は、富士宮市の自然や市内で行われる祭りを表現した歌詞で、3年前から御神火祭りの特設舞台で披露している。この曲を聴いたチアーズファクトリーの米山温子さんが踊りを付けた。「桜の花びらが舞うようなイメージがわき上がり、市民の皆さんに受け入れてもらえるようなものにした」という。踊りは今回の御神火祭りが初披露となる。

野球通信

◇富士宮市

（7月30日の結果）

【市民スポーツ祭区対抗大会1、2回戦】

▽明星山球場＝宮原区8―2富士見ケ丘区、青木区7―1上井出区、淀師区5―0貴船区、野中2区6―3黒田区

▽芝川スポーツ広場＝淀橋区11―2安居山2区、高原1区8―2山宮2区、万野2区―原・狩宿区（棄権）、外神区4―0小泉2区

（6日の試合）

【市民スポーツ祭区対抗大会2回戦】

▽明星山球場（8時30分）＝①野中2区×小泉3区②高原1区×人穴区③外神区×大岩1区

なくなった人

◇富士宮市　**（1日）**

渡井ひで子さん（97）野中1051の80

◇富士市　**（2日）**

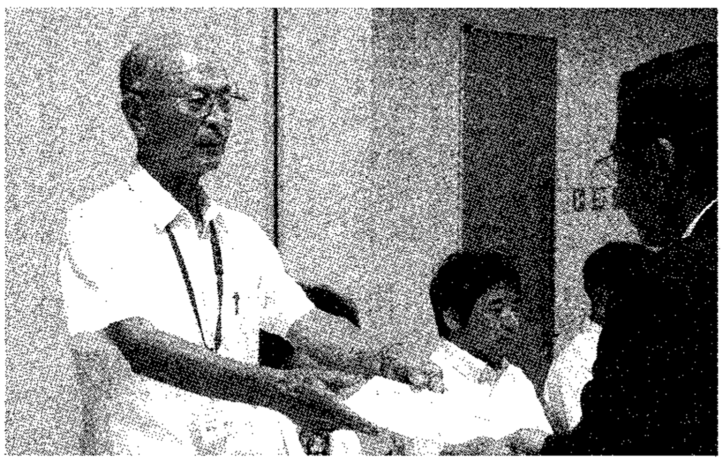
髙橋武志さん（78）入山瀬954の6

富士宮市

国保運営協

委員14人に委嘱状交付

退任委員に感謝状贈る



委嘱状の交付を受ける委員

富士宮市国民健康保険運営協議会委員の委嘱状交付式、および2017年度第1回協議会が2日、同市役所で開かれた。須藤秀忠市長から新任2人を含む委員14人に委嘱状が交付され、役員選出では瀬谷伸夫会長、土屋善江会長職務代理者が再選された。

委員の任期は19年7月31日まで2年間。須藤市長は一人一人に委嘱状を手渡した上で、「国民健康保険の財政は厳しい状況が続いており、制度改革も控えている。審議いただく事項は多くなると思うが、率直な意見を寄せてほしい」と呼び掛けた。委嘱状交付に先立ち、委員を退任した佐野文代さんに須藤市長から感謝状が贈られた。

役員選出を経てあいさつした瀬谷会長は「厳しい状況の中で会長を務めることになるが、皆さんの協力を得て協議を進めていきたい」と述べた。

その後、市の担当者が16年度国民健康保険事業特別会計決算の見込み、制度改革の概要、国保税率改正と自己負担額変更などについて説明した。

委嘱を受けた委員は次の皆さん。

▽被保険者代表＝渡邉仁、佐野多知子、高橋よし子、大橋理恵子

▽保険医または保険薬剤師代表＝阿南晃（市医師会）岡村文夫（同）猪頭正仁（市歯科医師会）佐野礼子（市薬剤師会）

▽公益代表＝野際英三（市商店街連盟）瀬谷伸夫（市民生委員児童委員協議会）小岱藤隆（富士宮農業協同組合）土屋善江（市地域女性連絡会）

▽被用者保険など保険者代表＝與五沢圭（製紙工業健康保険組合）朝比奈正（県自動車整備健康保険組合）

感謝状を受ける佐野さん

カルチャー通信

（4日・金）

◇岳南朝日新聞社

▽手編み（10時～12時・18時30分～21時）▽かな書道・ペン習字（12時～15時）▽レザークラフト（13時～15時）▽尺八（19時～21時）

◇おことの教室（富士宮市弓沢町）

▽箏（10時～18時）